

CHECK DRILL

総合問題演習・第25回

次の各文の空所に入る適語を、下の①～④の中から1つ選びなさい。但し、下線が引いてある場合には、同じ意味を表す語句を1つ選びなさい。

- (1) I'm hungry, but it isn't lunchtime ().
① already ② either
③ still ④ yet
(桃山学院大)
- (2) She looks very charming, dressed () white.
① in ② on
③ with ④ for
(センター試験)
- (3) Can you () me the time, please?
① say ② tell
③ speak ④ instruct
(神奈川大)
- (4) I am looking forward () you again.
① to see ② to have seen
③ to seeing ④ to be seeing
(札幌大)
- (5) The food Mother is cooking in the kitchen () delicious.
① is smelling ② smelled
③ smells ④ was smelling
(京都産業大)
- (6) I am not so foolish () every word he says.
① as to believe ② that believe
③ as believing ④ believing
(日本大)
- (7) Besides being expensive, the food in the cafeteria tastes ().
① too much bad ② too badly
③ badly ④ bad
(上智大)
- (8) They tried in vain to persuade () with them.
① Dick should come ② Dick to come
③ for Dick to come ④ to make Dick come
(京都産業大)
- (9) Computer supplies are very expensive in Japan. Even this cable () me 6,000 yen.
① paid ② charged
③ owed ④ cost
(慶應大)
- (10) 母は少なくとも月に一度はうちへ泊まりに来てくれます。
Mother comes to stay with us () once a month.
① at least ② at most
③ least of all ④ most of all
(日本大)

日本文の意味を表す英語になるように与えられた語句を並べ替えなさい。

(11) 何と言ったらいいいのか迷っているうちに、彼女は向きをかえて歩き始めた。(2語句不要)
She turned and began to walk away (anything / before / nothing / think of / I ought / I could / to say).
(センター試験)

(12) ジェニーのことで私が一番感心するのは強情さと無邪気さです。
(me / about Jennie / what / strikes / most) is her obstinacy and innocence.
(流通経大)

(13) 風邪をひかないように注意しなければいけません。
(cold / better / you / not / had / to / catch / be careful).
(別府大)

(14) 脂肪を余分に取りなければ、美しいスタイルが保てます。
(maintain / fat / you / help / avoiding / will / excess) a good figure.
(立命館大)

(15) 窓を開けてくださいませんか。(1語不要)
Would you (the / open / window / opening / mind)?
(関西大)

(16) 人が心に思うことを他人に知らせるにはいくつかの方法があります。
There are several (has / inform / of / others / one / to / ways / what) on one's mind.
(近畿大)

(17) コーヒーを一杯飲んだら、気分が良くなりますよ。
(cup / coffee / make / of / you / better / feel / will / a).
(慶應大)

(18) Courage is a quality that people are expected to have. Perhaps that is the reason (it / those / don't respect / we / who / don't have / why).
(センター試験)

(19) When hunting, a snake is very careful (of movement / so as not / to advance / to attract / with a minimum) the attention of its victim.
(センター試験)

(20) You will find this map (great / helping / in / of / value / you) to get around London.
(立教大)

(1)④
△お腹が減ったのだけれど、昼食の時間にはまだ間がある。
◆慣用表現 = not ~ yet で「まだ～していない」。肯定文で「もう～しました」なら already、疑問文で「もう～しましたか?」なら yet? を使う。
▽彼はまだ帰っていません。
He is **not** back **yet**.
▽彼はもう帰ってきました。
He is back **already**.
▽彼はもう帰ってきましたか?
Is he back **yet?**
否定文や疑問文の already は「強い驚き」が表現できるが、入試では出題されない。

(2)①
△白いドレスを着て、彼女はとても魅力的に見える。
◆前置詞 = 着用の in。身体が洋服の中に入っている状態。dressed の直前のコンマは不要。「着用の in」はここ (<http://blog.meigaku.ac.jp/yabu/files/2011/04/31a5bfa255a4fb71ae054b23d3cd55521.pdf>) を参照のこと。

(3)②
△時間を教えてくださいませんか。
◆「教える」の表現 = 「教科・科目を教授、指導する」は teach や instruct、「道順や時間などを言葉で教える」は tell、「図や絵に描いて説明する」なら show や illustrate。

(4)③
△また会うのを楽しみにしています。
◆前置詞の to = 人 look forward to 事で「人は事を楽しみにしている」。to は前置詞だから、直後は名詞がくる。それが動名詞になる。「前置詞の to」についてはここ (<http://blog.meigaku.ac.jp/yabu/?p=4758>) を参照のこと。

(5)③
△母が台所で料理している食材は良いにおいがする。
◆状態動詞 smell = 「匂いがする」は自動詞で状態を、「匂う」は他動詞で動作を表現する。だから、問題文の「食べ物がおいしいそうな匂いがする」は smell を be 動詞に置き換えて The food is delicious としても文が成立するので自動詞の方だと分かる。Mother **is** cooking だから smelled はダメ。

(6)①
△私は彼の言うことを全部信じるほどバカではない。
◆結果・程度構文 = so ~ as to ~ で「～するくらい(その程度)～である」。結果・程度構文についてはここ (<http://blog.meigaku.ac.jp/yabu/?p=2025>) を参照して、「親切シリーズ」は全部読み直しておくこと。

(7)④
△そのカフェの食べ物は値段が高い上に、おいしくない。
◆形容詞 bad = A taste bad で「Aはおいしくない」の意味。A taste B なら「AはBの味がする」の状態。A taste sour なら「Aは酸っぱい味がする」、A taste bitter なら「Aは苦い味がする」。taste を be 動詞に置き換えても文が成り立つので、B のところに副詞 badly は来ない。もし①が much too bad なら much が too を強調しているのだけど、英語でこんな表現はない。

(8)②
△彼らはディックと一緒に来るように説得しようとしたが無駄だった。
◆persuade の語法 = persuade 人 to ~ で「人を説得して～させる」。persuade that S + V なら「S が V することを納得させる」の意味だけど、should は不要。persuade の語法についてはここ (<http://blog.meigaku.ac.jp/yabu/?p=3056>) と、そこ (<http://blog.meigaku.ac.jp/yabu/?p=2995>) を参照。

(9)④
△日本ではコンピュータの周辺機器はとても値段が高い。このケーブルなんか6000円もした。
◆cost の語法 = cost は「奪う」と発想して、「誰から+何を」の4型だと覚える。cost についてはここ (<http://blog.meigaku.ac.jp/yabu/?p=4116>) を参照のこと。

(10)①
◆慣用表現 = at least で「少なくとも」。at most なら「せいぜい、多くても」、least of all なら「毛頭ない」、most of all なら「なかでも、とりわけ」。

(11)She turned and began to walk away [before I could think of anything to say].
<nothing / I ought 不要>
◆不定詞の形容詞用法 = anything to say で「何か言うこと」。think of anything to say で「何か言うことを思いつく」。長いと後ろに回る性質を「E T の法則」と言います。E T の法則についてはここ (<http://blog.meigaku.ac.jp/yabu/?p=4433>) を参照しておいてください。

(12)[What strikes me most about Jennie] is her obstinacy and innocence.
◆関係代名詞 what = what S + V で「S が V すること・もの」、what V + O で「O を V すること・もの」。ここでは「私を感心させること」だから what strikes me。それに副詞 most が付いて「私を一番感心させること」、この名詞を飾る形容詞が about Jennie。関係代名詞 what についてはここ (<http://blog.meigaku.ac.jp/yabu/?p=6022>) を参照のこと。

(13)[You had better be careful not to catch cold].
◆不定詞の副詞用法 = 「何するために?」の to を否定して「～しないように」の表現は not to ~。基本文 You are careful に、助動詞 had better がひっついている。「～しないように」についてはここ (<http://blog.meigaku.ac.jp/yabu/?p=1271>) を参照のこと。

(14)Avoiding excess fat will help you maintain a good figure.
◆help の語法 = help 人 to ~ で「人が～するのを助ける」で、ここでは to が省略されている。help 人 with 事なら「人の事を助ける」となり、どちらも「help 人」となり、「help 事」にならないことに注意。与えられた語句のなかで、主語になることのできる名詞は avoiding、fat、そして you の3つ。動詞は maintain と help の2つで、文全体の中心的な動詞(主節動詞)は help だから、主語は avoiding fat だと分かる。あとは help 人 to ~ の形に持ち込めればOK。

(15)Would you [mind opening the window]? <open 不要>
◆動名詞と仲の良い動詞 = mind ~ ing で「～を嫌だと思ふ」。問題文は「君は(自分が)窓を開けるのを嫌だと思ふか?」が原義。もし Would you mind my opening the window? なら「窓を開けてもいいですか?」 = 「君は僕が窓を開けるのを嫌だと思ふか?」の意味になる。動名詞と仲の良い動詞についてはここ (<http://blog.meigaku.ac.jp/yabu/?p=4701>) を参照のこと。

(16) There are several [ways to inform others of what one has] on one's mind.
◆inform の語法 = inform 人 of 事で「人に事を知らせる」。この様に「誰に+ of 何を」の語順を4型クズレと呼ぶ。4型クズレについてはここ (<http://blog.meigaku.ac.jp/yabu/?p=3959>) を参照のこと。

(17) [A cup of coffee will make you feel better].
◆物主語構文 = 物主語で「させる系」の make は「make + 何を + どの様に」の第5文型を取る。物主語構文「させる系」についてはここ (<http://blog.meigaku.ac.jp/yabu/?p=1681>) を参照のこと。

(18)~ that is the reason [why we don't respect those who don't have it].
◆関係代名詞 = those [people] who + V で「V する人々」。世の中には人とモノしかないの、those people か those things のどちらか。だから people や things を省略しても差し支えない。

(19)When hunting, a snake is very careful [to advance with a minimum of movement so as not to attract] the attention of its victim.
△狩りをするとき、蛇は獲物の注意を引かないように、動きを最小限におさえて慎重に前進する。
◆慣用表現 = A is careful to ~ で「Aは慎重に～する」、with a minimum of A で「Aを最小限に抑えて」。so as not to ~ で「～しないように」。「～しないように」については(13)の解説参照。

(20)You will find this map of great value in helping you to get around London.
△ロンドンを歩き回る手助けになるという点で、この地図がとても役に立つことが分かるだろう。
◆of + 抽象名詞は形容詞 = of great value は very valuable だから、問題文は You will find this map very valuable ~ と同じ事だと分かる。of + 抽象名詞についてはここ (<http://blog.meigaku.ac.jp/yabu/?p=4283>) を参照のこと。